

蒲郡若者議会 環境委員会 政策立案シート



内田愛弓



川合はな



橋本桃那



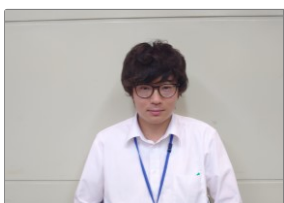
毛利寿美怜



山崎貫太



吉見匠葵



牧原大貴
(環境政策課)



赤崎大輝
(建築住宅課)

運営委員会・協力

堀井惇平、児玉真伍、神谷晏、酒井伸豪、太田武明、小田崇義、廣中健太郎

政策＝理想の未来像

※蒲郡がどんな未来になっていると良い？

全人類が憧れるクリーンなまち 蒲郡

現状分析

※各種客観的データ

①関係する政策や施策

- ・パリ協定 ・なんでも出前講座
- ・省エネルギー補助金
- ・街灯のLED化 ・環境美化推進員の募集
- ・リチウムイオン蓄電池の導入
- ・エコポイント・エコ双六

③影響しそうな社会的要素

- ・カーボンニュートラル
- ・ESG・リジェネライフ農業
- ・サーキュラーエコノミー
- ・ゼロカーボンアクション30
- ・SDGs ・3R

②関係する数量的なデータ

- ・愛知県のゴミは減少 蒲郡のゴミは増加
- ・溶存酸素量
- ・10mあたりの海岸漂着ゴミ 20L
- ・日本の海岸全体に漂着ゴミの量≒19万t/年
- ・授業で海岸の清掃時のゴミの量 約3.8kg

④関係する部署・団体

- ・蒲郡市環境清掃課
- ・花植ボランティア「マーガレットクラブ」
- ・ウォーターエード
- ・4ocen
- ・三河湾環境チャレンジ実行委員会

解決すべき課題

※理想の未来像を目指すときに、蒲郡市にはどんな課題がある？

流木や空き缶などの漂着物の影響で、海のイメージがダウンしている。また、下水道の整備が行き届いていないため、家庭排水が川、海に流れてしまい、赤潮などの原因になっている。

道路や空き地などの雑草が多いところでのポイ捨てが多い。また、雑草がある事で歩道が狭くなり交通事故の原因になる。

人が集まる場所でのごみが目立つ。例えば、蒲郡祭りなどは、必然的にごみが発生してしまうような提供方法をしているうえに、ゴミ箱の場所を参加者全員が把握できていない。

蒲郡の環境について特にいいところがない。大きな問題はないが、これといったアピールポイントがないため、情報発信をすることも出来ないし、憧れるような存在ではない。

3

役に立つ強み

※若者議員や地域、企業・団体が持っている、課題解決に役立つ強みは？

高齢者の方々がとても元気で、蒲郡のために「メヒカリ隊」として駐輪場の整備をしてくれたり、歩道に積もった落ち葉の撤去などをしてくれたりしている。

ボランティアによる「海のごみゼロ作戦」が開催されており、小中学生から大人までが協力し、砂浜に捨てられたごみや漂着物の撤去を行なっている。

若者議会という若者がメインとなり意見を言える場所があり、蒲郡を良くしようと高いモチベーションを持った若者たちが集まっているため、行動力がとてつもなくある。

蒲郡には、「オダトモヒト先生」や「大橋裕之先生」など有名な漫画家の先生がいるため、全人類に憧れてもらうための第一歩として、蒲郡を知ってもらうきっかけとなる。

4

施策＝アクション

※どんなアクションをすることで、理想の未来像を目指す？

環境問題に対する意欲を上げ、行動に移す市民を増やす！！

5

蒲郡にどんな効果がある？

蒲郡市民が環境について興味を持ってくれる
まちが綺麗になっていく、ゴミが減っていく
暮らしやすいまちになる＝蒲郡市にずっといたいと
若者から大人まで思える
蒲郡市に住み続けたいと思えるまちになる
他の市から憧れられる
動物が暮らしやすくなる
高齢者も安心して過ごせる
環境についてよく取り組んでいる市として有名になり、観光など他の事にも繋がる

6

参加者にどんな効果がある？

蒲郡市民をみて全人類が環境への意欲向上する
環境問題について知ることができ、他の市でも取り組む事で環境がよくなる
学生などの若い世代が環境について行った効果を実感することができる
人間が魚介類を通してプラスチックを食べて健康被害に繋がる可能性が低くなる
心がすっきりする
興味をもってもらえたりやりがいを感じたりする

7

事業の概要

なぜ環境への意欲が低いのか

- ・環境に配慮した活動をして、変化・成果を得られない
- ・自分には関係ないと思っている
- ・何をやればよいか分からない

環境への意欲を上げるための活動

『ガマエコポイント』

参考事例 「八王子市エコアクションポイント」

環境に関する講座への参加、家庭での省エネチャレンジなどでポイントを獲得し、ためたポイントを八王子ならではの商品、環境に配慮した商品と交換できる。

[八王子市エコアクションポイント（はちエコポイント） | 八王子市公式ホームページ \(city.hachioji.tokyo.jp\)](http://city.hachioji.tokyo.jp)

ガマエコポイントについての概要

市民が行なったエコ活動に応じてポイントを配布し、ポイントと景品を交換出来るシステム
景品例(アンケートに基づく)

- ・地域で使える商品券
- ・蒲郡の特産品
- ・おもちゃ
- ・花火鑑賞券

効果

- ・ポイント制にすることで成果がわかりやすくなる
- ・環境に興味がない人でも参加してもらえる。そして、環境に関心を持つきっかけになる

エコポイント先行研究 協力：ティーエムエル株式会社、那須塩原市、八王子市、豊川市

効果

- ・市民の意識向上
- ・リサイクルの活発化
- ・児童が環境に興味を持つきっかけになる

問題点

- ・活動目的がポイントになってしまう
- ・認知度が低い

『ライトアップ』

概要

- ・上記のポイント量に応じてライトアップする
 - ・ポイント量が多く、ごみの排出量が少ないほど鮮やかなライトアップを行なう
- *ライトアップは人を集めることで一般家庭の電力を消費することができ、合計するとライトアップを行なった方が町全体の消費電力は少なくなる。

効果

- ・エコ活動の目的が市の環境になる
- ・エコ活動の成果が目に見えてわかる
- ・認知度の上昇
- ・観光資源の一つになる

『地区対抗エコポイント対決』

概要

- ・小学校または中学校の地区でエコポイント獲得数を勝負する
- ・獲得ポイント数に応じて、地区の代表する物をライトアップする

効果

- ・地区対抗というゲーム性を取り入れることで、モチベーションの向上につながる
- ・学校との連携（エコキャップ・給食でのフードロス活動のポイント化）
- ・地域との繋がりが強くなる

該当する
SDGs

